

年

ネン
とし

〔1〕年

6画
ノ
一
一
一
一
一
年

なかく

〔なりたち〕 古い形は禾と千とで作られていて、禾(稲)と千との形声字。千の音にはネンがあり、稔(年)と同じなので稲が「みのる」ことを表す。みのりはとしに一度というこ

とで「とし」の意味に使う。



いみじゆく

▼とし。
年男：その年の干支(とせ)に当たる男。節分に豆まきなどをする。
年号：国家の安泰を祈って年につける称号。明治・大正・昭和など。
年頭：年のはじめ。用例年頭のあいさつ。
年表：歴史上のできごとを年代順に書き並べた表。
年譜：ある個人の経歴や仕事の経過を年代順に書き記したもの。
成年：心身ともに一人まえの大人になったとみとめられる年齢。二十歳以上の大人。
青年：年若い男女。
▼作物がみのる。みのり。
祈年祭：宮中で五穀の豊作などを祈った祭事。

〔よみかた〕 年子・年下・年賀・年中・年配・今年・昨年

垂

オン
スイ
たれる・たらす

〔6〕年

8画
二
一
一
一
一
垂

なかく

〔なりたち〕 草木の花がたれて土にどいていっていることを表した字。たれる、という意味の字。転じて、都から遠く離れた土地の意味に使われることがある。



いみじゆく

▼たれる。上から下へおろす。垂直：まっすぐに垂れること。
①物を糸でつりさげた時、糸の示す方向。②二つの直線(または平面)が直角に交わっていること。
垂線：ある直線(または平面)に垂直に交わる直線。
垂範：模範を垂れる(示す)こと。
雨垂れ：軒から落ちる雨のしずく。
下垂：垂れさがること。例胃下垂

〔よみかた〕 垂下・垂示・懸垂

年午

午

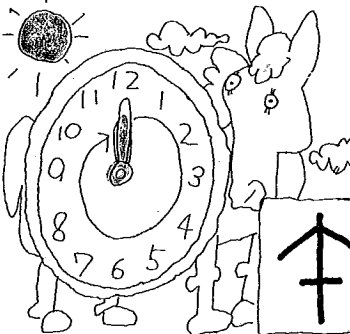
ゴ
うま

〔2〕年

4画
ノ
一
一
午

なかく

〔なりたち〕 左右二人でつくための「きね」の形を表した字。杵(杵)の本字。十二支の七番目「うま」を表す字として用いられ、時刻では昼の十二時、方角では南を表す。



いみじゆく

▼十二支の七番目。うま。
丙午(ひのえ)：干支(とせ)の一つ。丙が火の兄(え) (あに)、午が馬を意味するところから、この年は火災が多いというような迷信があった。
▼昼の十二時。
正午：昼の十二時。
午後：正午から夜の十二時まで。または正午から夕方まで。例午前で。例午前
午餐(ランチ)：昼の食事。
午睡：ひるね。
▼真南。
子午線：真北と真南を結んだ線。

▼五の意味。
端午の節句：五節句の一つ。五月の、最初(端)の五(午)日に行われる。男の子の無事に成長を祝う。

郵

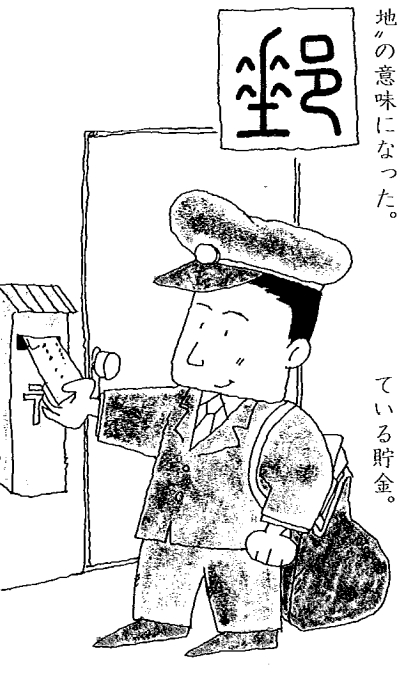
ユウ

〔6〕年

11画
一
一
一
一
一
一
一
一
一
郵

なかく

〔なりたち〕 辺境の土地の意味の垂と邑(と)の意味の卜との会意字。辺境の村のこと。そこは宿場があり、文書の中継地だから、宿場・文書の中継地の意味になった。



いみじゆく

▼手紙や物品などをあて名の人に運送する制度。
郵便：手紙・葉書・小包等を集配する通信制度。また、その手紙・葉書・小包等。郵便局：郵便を取り扱う役所。郵政省：郵便制度をつかさどる政府の機関。
郵券：郵便切手。
郵税：郵便料。
郵送：郵便で送ること。
郵便貯金：郵便局で取り扱っている貯金。

垂郵